

くまのじんじゃ 熊野神社



● れきし 歴史

くまのじんじゃ 熊野神社は、いつ頃ころに建てられたかは不明ふめいですが、奈良時代ならじだいの天平10年てんぴょうねん

(738年ねん)に浄定坊じょうじょうぼうというお坊さんほうによって発見はっけんされました。和歌山県わかやまけんの新宮市しんぐうし

にある熊野速玉大社くまのはやたまたいしゃという神社じんじゃから神様かみさまを分けてもらったと伝えられています。

この神社の建物たてもの(社殿しゃでん)の下には、箱根はこねで最も古くからある、自然しぜんに湧き出ている

温泉おんせんがあり、浄定坊じょうじょうぼうさんが発見はっけんしたときからありました。今でも湧き続けている

温泉おんせんです。

はこね おんせん れきし 箱根の温泉の歴史は、この温泉おんせんの発見はっけんから始まり、天平宝字元年てんぴょうほうじ がんねん(757年ねん)に湯

もとおんせん ひら 本温泉もとおんせんを開いたと伝えられていて、1200年ねんいじょう以上の歴史れきしがあります。

ちか ほうじょうけ はか た 近くに、北条家のお墓はかが建てられている早雲寺そううんじが在り、お参りまいをするときにここ

に立ち寄って湯ゆに浸つかっていたことから、「北条氏の足洗いの湯あしあらゆ」とも言われてい

ます。また、^{くまの おんよ}熊野を音読みすると「ゆや」となるところから、「ゆや^{ごんげん}権現」として

^{だいじ}大事にされて、^{おんせん かみさま}温泉の神様としても^{した}親しまれています。

● ちいき ^{かか}地域との関わり

^{はこね にほん}箱根は日本だけではなく、^{せかい ゆうめい}世界でも有名で、^{まいとしおお ひと かんこう おとす}毎年多くの人が観光に訪れていて、

^{おお ひと おんせん はい い この}多くの人が温泉に入^りて行き、好まれています。

^{はこね おんせん かんこうきゃく みんな たの たいせつ かんしゃ き}箱根にとって温泉は観光客の皆が楽しんでくれる大切なもので、その感謝の気

^{もち まいとし がつ にち まつ}持ちをこめ、毎年9月15日にお祭りをしています。

● かんれん 関連するスポット

^{ほんまよせぎびじゅつかん むかし はこね かんこう き たひと かか}・本間寄木美術館…昔から箱根に観光に来た人たちと関わりがあります。

^{はこね ゆもとけんぼん むかし はこね かんこう き たひと かか}・箱根湯本見番…昔から箱根に観光に来た人たちと関わりがあります。